

# INFORMATION

No.2022.42  
2023年3月

## 新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
この度、新たな検査項目の受託開始について、下記の通りご案内いたします。  
健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。  
謹白

### 記

#### ■ 受託開始日

2023年 5月 19日（金）ご依頼分より

#### ■ 新規項目内容一覧

項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
3376	TSHレプター抗体(阻害型) (BA) 5G305-0000-023-905	血清 0.3	① 真空 採血管	冷蔵 (21日)	3~5	-	Bio assay	裏面 参照	<b>溶</b> 溶血でのご依頼は 避けてください。 (溶血検体では、測 定値が高値となる 可能性があります。) ※1

今回の新規項目受託開始に伴い、下記項目の受託を中止させていただきます。

検査項目 一覧掲載頁	項目コード	項目名	最終受託日
76	2169	TSH作用阻害型抗体 <TSB-Ab>	2023年5月18日(木)ご依頼分まで



一般社団法人

福岡市医師会臨床検査センター

〒814-0001 福岡市早良区百道浜1丁目6番9号 TEL(092)852-1506 FAX(092)852-1511

- TSHレセプター抗体(阻害型) (BA)  
原発性粘液水腫(萎縮性甲状腺炎)の患者やバセドウ病の治療経過中に甲状腺機能低下症となった患者に検出されます。

TSBAbはTSH受容体に作用し生理的濃度のTSHの作用を抑制し、甲状腺機能低下症の発現に重要な役割を果たしているものと考えられています。このTSBAbは甲状腺腫の腫れない原発性粘液水腫(萎縮性甲状腺炎)の患者やバセドウ病の治療経過中に甲状腺機能低下症となった患者に検出されることが報告されています。

▼疾患との関連

特発性粘液水腫、甲状腺機能低下症

▼関連する主な検査項目

TSHレセプター抗体(定量)、甲状腺刺激抗体(TSAb)

▼検査要項

	新	現
検査項目名	TSHレセプター抗体(阻害型) (BA)	TSH作用阻害型抗体<TSB-Ab>
項目コード	親: 3376 TSHレセプター抗体(阻害型) (BA) 子1: 3377 TSBAb 子2: 3378 SI 子3: 3379 BI	2169
検体量	血清 0.3 mL	血清 1.2mL
容器	変更はありません	①真空採血管
保存方法	変更はありません	冷蔵保存してください
所要日数	3~5日	4~6日
検査方法	Bioassay	Bioassay EIA
基準値(単位)	下記参照	血清 31.7以下(%)
報告範囲(単位)	TSBAb: 0.0~100(%) SI: NB値により異なる、***~99900000(なし) BI: SI値により異なる、***~99900000(なし)	0.0~99900000(%)
桁数	TSBAb: 有効3桁、整数3桁、小数1桁 SI: 有効3桁、整数8桁、小数1桁 BI: 有効3桁、整数8桁、小数1桁	有効3桁、整数8桁、小数1桁
検査実施料	—	—
半額料	—	—
備考	<b>溶</b> 溶血でのご依頼は避けてください。(溶血検体では、測定値が高値となる可能性があります。) ※1	※1

[3376]: TSHレセプター抗体(阻害型) (BA) (参考基準値)

項目コード	名称	指標内容	参考基準値(単位)
3377	TSBAb	TSHレセプター抗体(阻害型)	13.1未満(%)
3378	S (Stimulation Index)	甲状腺刺激ホルモン受容体(TSHR)への刺激活性の指標	設定なし
3379	BI (Blocking Index)	刺激活性を排除したTSBAb阻害活性の指標	8.0未満(単位なし)

参考基準値につき、報告書への記載はありません。

●参考文献

保科 元気, 他: 医学と薬学 80(1): 101~113, 2023. (検査方法参考文献)  
準備中(臨床的意義参考文献)